

同時発表：えりも町

えりも沿岸域におけるブルーカーボンによる CO₂吸収量推計検討会の開催

天然コンブのブルーカーボンによるCO₂吸収量の把握を目的として、6月6日に「えりも沿岸域におけるブルーカーボンによるCO₂吸収量推計検討会」を開催します。また、検討会終了後、空中ドローンによる藻場の撮影と撮影画像の確認を行います。

- 日 時 令和5年6月6日（火）
(1) 検討会 : 14:30～16:00
(2) ドローン撮影 : 16:00～16:50（荒天中止）
(3) プレスブリーフィング : 16:50～17:15（撮影中止の場合、16:00～）
- 場 所 えりも町役場 2階 集団指導室（幌泉郡えりも町字本町206番地）
- 検討会次第 ・ えりも町大西町長挨拶
・ 現地調査計画（ドローン・潜水調査）
・ AIを用いた画像解析の動向と藻場の判別に向けた方向性 等
詳細：別紙1-1、1-2
- 取 材 報道関係者に限り、検討会は町長挨拶まで、また、検討会終了後のドローン撮影について取材可能です。ドローン撮影終了後、16時50分から報道関係者へブリーフィングを行います（荒天によるドローン撮影中止の場合は、16時00分から）。取材を希望される方は、別添「取材申込書」に必要事項をご記入の上、令和5年6月2日（金）15時までに、以下メールアドレス宛てに送付ください。
※送付先：hkd-ky-kouwan@gxb.mlit.go.jp（北海道開発局港湾計画課宛て）
- そ の 他 別紙2：北海道開発局長定例記者会見資料（4月25日）

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311
港湾空港部 港湾計画課 港湾企画官 古屋 武志（内線 5612）
上席専門官 大沢 佳宏（内線 5615）
北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

えりも町役場 産業振興課 水産係 電話 01466-2-4624
係長 伊藤 圭輔
上級主事 明神 孝幸



えりも沿岸域におけるブルーカーボンによる CO₂ 吸収量推計検討会（第 1 回）

日 時：令和 5 年 6 月 6 日（火） 14：30～16：00

場 所：えりも町役場 2 階

事務局：えりも町・北海道開発局

次 第

1. 挨拶
2. 全体検討スケジュール
3. 現地調査計画（ドローン・潜水調査）
4. 現地調査における留意点
5. AI を用いた画像解析の動向と藻場の判別に向けた方向性
6. ジャパンブルーカーボンプロジェクト昆布の森創り

えりも沿岸域におけるブルーカーボンによる CO₂ 吸収量推計検討会メンバー

(検討会メンバー)

小川	貴弘	北海道大学情報科学研究院教授
中前	茂之	北海道大学数理・データサイエンス教育研究センター特任教授
森	健二	寒地土木研究所寒地水圏研究グループ水産土木チーム上席研究員
坂本	好則	えりも漁業協同組合長
大西	正紀	えりも町長
早川	哲也	北海道開発局港湾空港部港湾計画課長
大黒	俊一	北海道開発局室蘭開発建設部浦河港湾事務所長

(オブザーバー)

吉川	京二	株式会社ジャパンプルーカーボンプロジェクト代表取締役
岸	鉄也	北海道日高振興局産業振興部水産課長

(顧問)

長谷山	美紀	北海道大学情報科学研究院長・教授
-----	----	------------------

北海道開発局長記者会見資料
令和5年4月25日

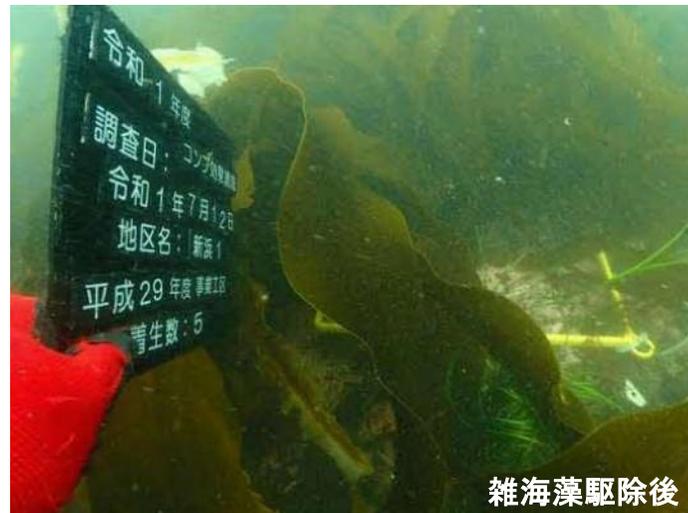
えりも町沿岸の天然コンブ漁場における ブルーカーボンによるCO₂吸収量の調査を開始



- えりも町では、明治以降、燃料としての木々の伐採や、牛・馬・綿羊の放牧などによって、大地は砂漠化しました。えりも岬特有の強風によって舞い上がった赤土は沿岸の海を濁らせ、海藻類は根腐れをおこし、回遊魚や沿岸の魚も減少しました。このため、関係者が一丸となって緑化事業を実施し、豊かな緑と海の資源を回復させました。
- この緑化事業は現在でも継続して行われており、さらに、コンブ漁場を守るため雑海藻駆除も実施されています。これらの取組は、緑と海の資源確保だけでなく、グリーンカーボンとブルーカーボンによるCO₂吸収の観点で、現在では、その重要性が増しています。
- 北海道開発局及び寒地土木研究所は、北海道大学大学院情報科学研究院、えりも町、えりも漁業協同組合と連携し、ゼロカーボン北海道の実現に貢献するため、えりも町沿岸の天然コンブ漁場を対象としたブルーカーボンによるCO₂吸収量の調査を行います。



雑海藻駆除前



雑海藻駆除後

雑海藻駆除による天然コンブの増加(えりも町)

- 北海道開発局と寒地土木研究所は、ブルーカーボンによるCO₂吸収に関する調査・推計の実績に基づき、えりも町とえりも漁業協同組合が実施するドローンや潜水士による現地調査結果から、両者が連携し、天然コンブ漁場のCO₂吸収量をして把握します。
- さらに、北海道大学大学院情報科学研究院・長谷山研究室とも連携して、ドローンによる撮影画像からAIにより、海藻類の広大な生息面積を効率的に算出する技術開発を進めます。

えりも町 えりも漁業協同組合

- コンブの生育状況の水中調査
- ドローンによるコンブ漁場の空中撮影

北海道開発局 寒地土木研究所

- CO₂吸収の調査・推計方法に関する技術的な助言

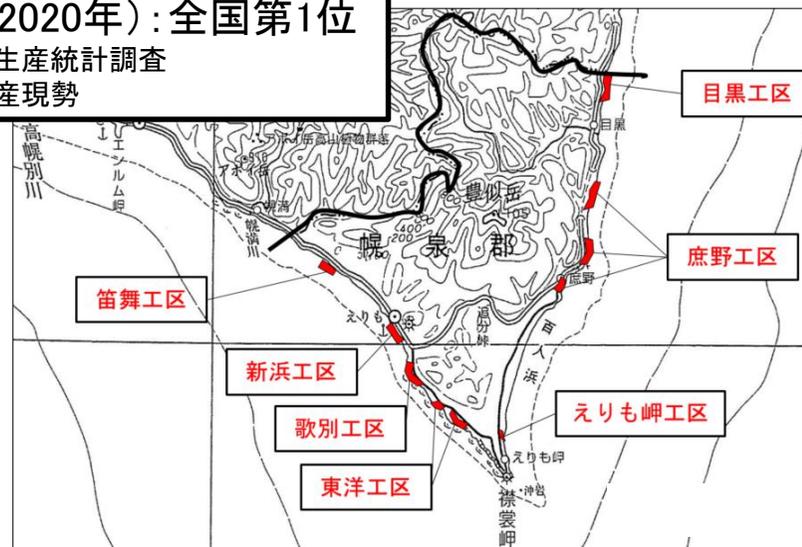
北海道大学大学院 情報科学研究院

- AIを用いた画像処理による効率的な海藻面積の把握

連携

広大な天然コンブ漁場における
ブルーカーボンによるCO₂吸収量の効率的な把握

えりも町の天然コンブ漁獲量
・1,589t(2020年):全国第1位
※海面漁業生産統計調査
※北海道水産現勢



えりも町周辺の天然コンブ漁の実施工区

想定スケジュール

6月	関係者による検討会設置
6月	えりも町周辺での現地調査
年内	CO ₂ 吸収量の算定

取材申込書

<入力事項>

氏名	
所属（会社名）	
電話番号	
メールアドレス	
検討会（開会挨拶）への参加	参加する ・ 参加しない (どちらかに○を付けて返信ください)
ドローン撮影への参加	参加する ・ 参加しない (どちらかに○を付けて返信ください)
プレスブリーフィングへの参加	参加する ・ 参加しない (どちらかに○を付けて返信ください)

<送信先>

北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課 宛て
メールアドレス：hkd-ky-kouwan@gxb.mlit.go.jp

<注意事項>

- ✓ 報道関係者に限り、検討会は町長挨拶まで、また、検討会終了後のドローン撮影について取材可能です。
ドローン撮影終了後、16時50分から報道関係者へブリーフィングを行います（荒天によるドローン撮影中止の場合は、16時00分から）。
取材を希望される方は「参加する」に○を付け、返信をお願いいたします。
- ✓ 令和5年6月2日（金）15時までに、メールにて本取材申込書を送付ください。
- ✓ 申込み受領後に確認メールを送付させていただきます。確認メールが届かない場合は、電話（011-709-2311（内線：5615））にてお問い合わせください。